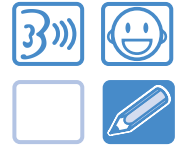


# 10-3 どっちが先♡



活動

ふた どうさ じゅんばん き  
2つの動作の順番を聞いて、  
せいかつしゅうかん くら  
生活習慣を比べる。

かたち



時間

せつめい編

文-33 Vてから

談話の技術

準備するもの

使うことば

からだ  
体、くつした、ズボン、もの、こと

## 手 順

きょうし した ひと  
1. 教師は、下のリストのような人によって  
じゅんばん こと こうどう ふた こくばん なら  
順番が異なる行動を2つずつ黒板に並べ  
て書く。

- ① は あさ た  
歯をみがく / 朝ごはんを食べる
- ② ふろ はい しゅくだい  
お風呂に入る / 宿題をする
- ③ あたま あら からだ あら  
頭を洗う / 体を洗う
- ④ くつしたをはく / ズボンをはく
- ⑤ すきなものを食べる / きらいな  
ものを食べる(一度の食事の中で)
- ⑥ すきなことをする / しゅくだい  
宿題をする

- がくしゅうしゃ じ ぶん じゅんばん しめ  
2. 学習者は自分がいつもする順番を示すよ  
うに、2つの行動を「Vてから」でつない  
で文を作って書く。  
ぶん つく か  
3. ペアを作って、書いた文を相手に読んで  
き 聞かせる。聞いた人は、相手と同じ文に  
をつける。  
かず かぞ  
4. の数を数える。

## モデルテキスト

- ① a. はを <sup>あさ</sup>みがいてから <sup>あさ</sup>朝ごはんを <sup>た</sup>食べます。  
b. <sup>あさ</sup>朝ごはんを <sup>た</sup>食べてから はを <sup>た</sup>みがきます。
- ② a. おふろに <sup>はい</sup>入ってから <sup>はい</sup>しゅくだいを <sup>た</sup>します。  
b. <sup>はい</sup>しゅくだいを <sup>た</sup>してから おふろに <sup>はい</sup>入ります。
- ③ a. あたまを <sup>た</sup>あらってから <sup>た</sup>からだを <sup>た</sup>あらいます。  
b. <sup>た</sup>からだを <sup>た</sup>あらってから あたまを <sup>た</sup>あらいます。
- ④ a. くつ下を <sup>した</sup>はいてから <sup>した</sup>ズボンを <sup>た</sup>はきます。  
b. <sup>した</sup>ズボンを <sup>た</sup>はいてから くつ下を <sup>た</sup>はきます。
- ⑤ a. すきな <sup>た</sup>ものを <sup>た</sup>食べてから <sup>た</sup>きれいな <sup>た</sup>ものを <sup>た</sup>食べます。  
b. <sup>た</sup>きれいな <sup>た</sup>ものを <sup>た</sup>食べてから <sup>た</sup>すきな <sup>た</sup>ものを <sup>た</sup>食べます。
- ⑤ a. すきな <sup>た</sup>ことを <sup>た</sup>してから <sup>た</sup>しゅくだいを <sup>た</sup>します。  
b. <sup>た</sup>しゅくだいを <sup>た</sup>してから <sup>た</sup>すきな <sup>た</sup>ことを <sup>た</sup>します。

## バリエーション

- (1) <sup>かず</sup>の数 <sup>きそ</sup>を競う。

### 先生へ

- ・ つないだ文を書かせて提出させると、<sup>ぶん</sup>学習者の<sup>か</sup>理解<sup>ていしゅつ</sup>を確認<sup>がくしゅうしゃ</sup>することができる<sup>りかい</sup>。
- ・ <手順> 1の<sup>ていしゅん</sup>行動<sup>こうどう</sup>の<sup>く</sup>組み合わせ<sup>あ</sup>は<sup>がくしゅうしゃ</sup>学習者の<sup>せいかつしゅうかん</sup>生活習慣<sup>あ</sup>に合わせて<sup>かんが</sup>考える。
- ・ ③の「<sup>あたま</sup>頭<sup>あら</sup>を洗う」は「<sup>かみ</sup>髪<sup>あら</sup>を洗う」とも言う<sup>い</sup>。